

## 令和4年産りんご着果状況及び黒星病発生状況調査結果

### 1 調査概要

#### (1) 調査の目的

令和4年産りんごの着果状況及び黒星病の発生状況を調査し、高品質りんご生産のための指導に活用する。

#### (2) 調査月日 令和4年7月12日(火)～13日(水)

#### (3) 調査地点 ふじ72地点、ジョナゴールド72地点、つがる72地点、王林72地点、トキ70地点

#### (4) 調査機関

全農青森県本部、(公財)青森県りんご協会、(地独)青森県産業技術センターりんご研究所、県

### 2 調査結果

#### (1) 着果状況

県全体の着果率は、園地によってバラツキがあるものの、いずれの品種も標準着果率を上回っている。なお、一部園地で、つがるや王林にサビ果や日焼け果が見られた。

#### (2) 黒星病の発生状況

黒星病の被害果はほとんどなかった。

<りんご着果状況> (単位：%)

品 種	着果率			標準 着果率
	本年	平年	前年	
ふ じ	35.3	31.2	33.4	25.0
ジョナゴールド	37.0	32.6	34.9	28.6
つがる	41.3	35.9	37.6	28.6
王 林	42.1	35.0	36.5	25.0
ト キ (参考)	39.4	—	32.9	25.0

注) 平年値：平成4年～令和3年までの30か年の平均

標準着果率：県が基準とする適正な着果程度

<障害果及び黒星病発生状況> (単位：%)

品 種	障害果率		健全果率			標準 着果率
		うち黒星病	本年	平年	前年	
ふ じ	0.5	0.0	34.8	31.5	32.3	25.0
ジョナゴールド	1.1	0.0	35.9	32.8	33.5	28.6
つがる	7.3	0.0	34.0	32.9	31.0	28.6
王 林	3.9	0.0	38.2	35.1	35.2	25.0
ト キ (参考)	1.8	0.0	37.6	—	32.0	25.0

注) 障害果：黒星病被害果、サビ果、日焼け果等

平年値：平成14年～令和3年までの20か年平均

### 3 今後の対策

(1) 普及指導員の巡回指導に加え、りんご生産情報やラジオ、SNS等を活用し、適正な着果量になるまで見直し摘果を徹底する。

(2) 標準着果量を確保できない場合は、樹勢調節のために肥大や果形の悪い果実でも残すようにする。